

## 地域人材ネット

### SDGsを活用した持続可能なまちづくり

高木 超 ( たかぎ こすも )

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教



#### ○ 登録者情報

所在地

神奈川県藤沢市

## 略歴

2009年:青山学院大学国際政治経済学部 卒業  
2012-2017年:大和市役所(神奈川県)にて、住民協働等に從事  
2017年:明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 卒業  
2019年-現在:慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教  
国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット研究員  
2019年-現在:鎌倉市SDGs推進アドバイザー(神奈川県鎌倉市)  
2021年-2022年:Network Manager(SDSN Japan)  
2021年-2022年:国際渉外担当ディレクター(ジャパンSDGsアクション推進協議会事務局)  
2021年-現在:地域活性化伝道師(内閣府)  
2021年-現在:SDGsアドバイザー参与(京都府亀岡市)  
2021年-現在:川崎市SDGs推進アドバイザー(神奈川県川崎市)  
2021年-現在:ヨコハマSDGsデザインセンター・アドバイザー(神奈川県横浜市)  
2022年-現在:武蔵野大学工学部非常勤講師  
2022年-現在:大田区SDGs推進会議 副会長(東京都大田区)

## 著書・論文等

### ◆著書(単著)

『SDGs×公民連携 先進地域に学ぶ課題解決のデザイン』(学芸出版社、2021)

『まちの未来を描く!自治体のSDGs』(学陽書房、2020)

※政刊懇談会第20回「ほんづくり大賞」優秀賞(受賞者は出版社である学陽書房)

『SDGs×自治体 実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法』(学芸出版社、2020)

### ◆著書(共著)

『14歳からのSDGs あなたが創る未来の地球』(明石書店、2022年)

『企業のリアルな事例でわかる SDGsの課題別推進方法』(第一法規、2021年)

## ○ SDGsを活用したサステナブルなまちづくり

### 取組の内容

地方自治体職員だった経験を活かし、行政がSDGsを活用するための実践的な手法を研究・開発し、全国自治体での講演や著書を通じて広く社会に伝えています。また、京都府亀岡市参与や、横浜市、川崎市、鎌倉市などのアドバイザーとして、各自治体に即したSDGs推進政策の形成を支援しています。ほかにも、東京都大田区SDGs推進会議委員(副会長)をはじめ、全国の自治体が設置する審議会・委員会の委員として、これまで蓄積した専門知識とノウハウを地域社会に還元しています。2021年には、地方創生に向けた専門家として、内閣府から「地域活性化伝道師」に任命され、全国の自治体にSDGsを浸透させるべく、活動を加速させています。

また、2017年にユース世代のSDGs推進に向け「SDGs-SWY」を設立し、共同代表に就任(21年に次世代に引き継ぐ)。市参与を務める京都府亀岡市では、人型ロボット「Pepper」によるSDGsの教育プログラムを共同開発したり、身近なSDGsを学ぶカードツール「MIJI-SUS」を開発したり、市内の全中学校に寄贈したりするなどの教育支援にも取り組んでいます。2020年からは、国連機関の中で研修を専門とする国連訓練調査研究所(UNITAR)広島事務所が実施する「国連ユニタール青少年大使プログラム」の講師として、次世代の育成に携わっています。



三重県議会での講演の様子



SDGsの視点を獲得できるカードツールを開発

## 実績

- ▶自治体政策・まちづくり等におけるSDGsの活用に関する講演・研修(100件以上)  
※主な講演先:環境省、東京都、仙台市、大津市、三重県議会、(公財)全国市町村研修財団、(公財)東京市町村自治調査会等
- ▶自治体におけるSDGsの活用に関する書籍を出版(累計発行部数1万部以上)
- ▶『国連ユニタール青少年大使プログラム』(国連訓練調査研究所)の人材育成プログラムの企画に参画

## 工夫した点や苦勞した点

国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、日々の暮らしと遠いものと感じてしまう自治体職員、地域住民の皆様は非常に多いのではないのでしょうか。そのため、SDGsを身近な存在と感じていただけるように、講演やワークショップに様々な工夫を凝らしています。また、SDGsと既存の取組を関連付けて終わらせるのではなく、サステナビリティの観点から既存の取組を点検し、改善できるような手法も提案しています。

## ひとことPR

自治体職員としての経験を活かし、自治体や地域づくりの現場で「持続可能な開発目標(SDGs)」を実践的なツールとしても活用することができるように、職員や地域の皆様と一緒に取り組んでいきます。

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	○ 地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他 SDGsに係る政策形成支援
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
○ その他 政策形成支援	

### 関連ホームページ

Cosmo Lab.(高木超公式ページ)	<a href="https://www.cosmo-takagi.com/">https://www.cosmo-takagi.com/</a>
地域活性化伝道師プロフィール(内閣府)	<a href="https://www.chisou.go.jp/tiiki/siryou/dendoushi/r04/201.pdf">https://www.chisou.go.jp/tiiki/siryou/dendoushi/r04/201.pdf</a>

### 連絡先

メールアドレス	cosmo [アットマーク] sfc.keio.ac.jp		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。